

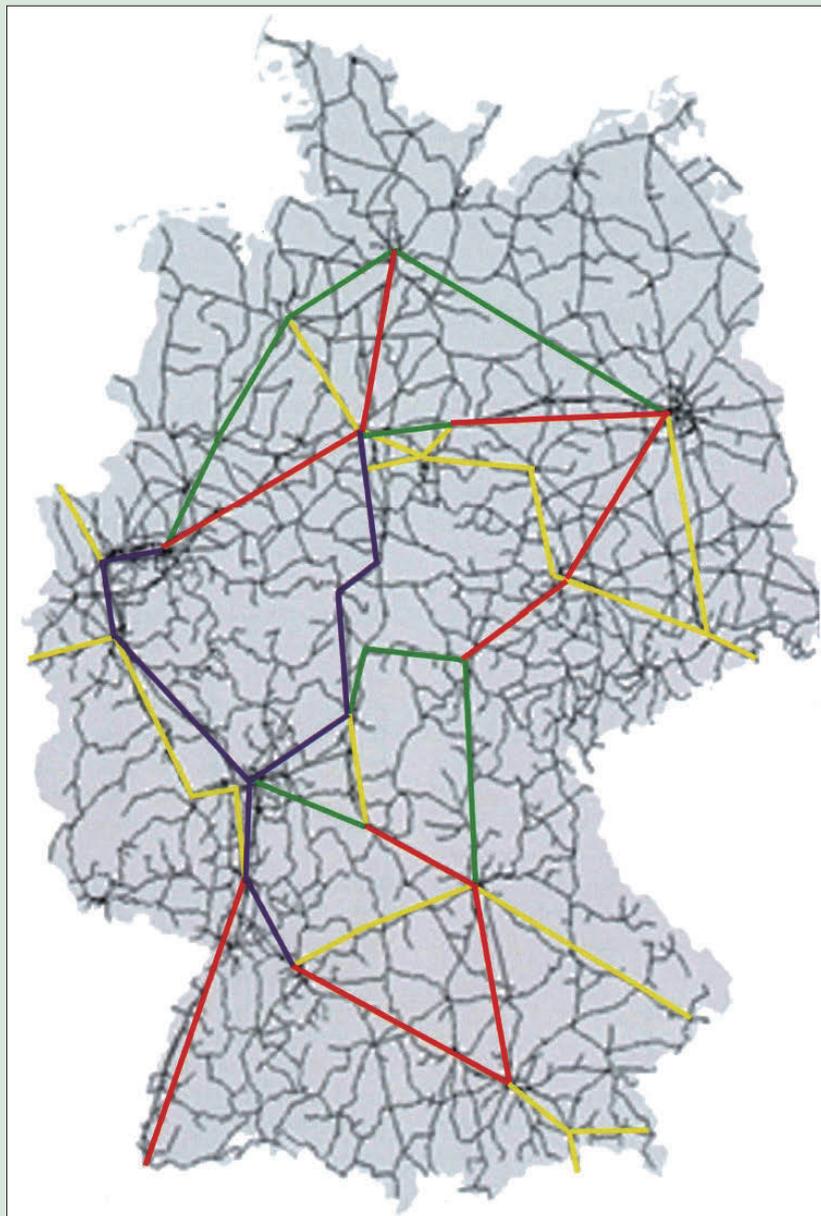
乗客数を倍増するための課題

原題：Vom ITF zum Deutschland-Takt bei Verdoppelung der Fahrgastzahl Teil 2

- 著者・所属：Werner Weigand；元部門長、ドイツ
Felix Berschin；KCW社、公共交通コンサルタント・フリーランサー、ドイツ
- 誌名：ETR: Eisenbahntechnische Rundschau Vol.69 No.1+2 (2020-1+2) pp.32-39
- 言語：独語

この記事は乗客数の2倍化に関する Deutschland-Takt (ドイツタクト)に関する内容である。ドイツタクトに関する BMVI (交通・デジタルインフラ省)の専門家の第2草案では、インフラ対策の一部を参照して、将来に及ぶターゲットコンセプトを活用することができる。2035年までに構築し、資金提供の可能な課題の解決が緊急に求められている。長距離鉄道システムを ICE/IC レベル以下で体系的に再構築することは失敗している。また、「NeiTec」テクノロジーも体系的に統合されていない。

現時点では航空輸送と競合するいくつかの「スプリンターライン」を追加し、経済的効率性を強化しなければならない。定時性を改善するため「ハブ」での列車の乗り換えを迅速に改善することが必要であり、そのために多くの駅施設の改造が求められる。車両の運用にも明確な方策が必要となり、メインルートで30分ごとの運行と、いくつかの追加のスプリンターにおいて、乗客数を2倍にする目標が定められている。



ドイツタクトのコアネットワーク

出典 ETR: Eisenbahntechnische Rundschau